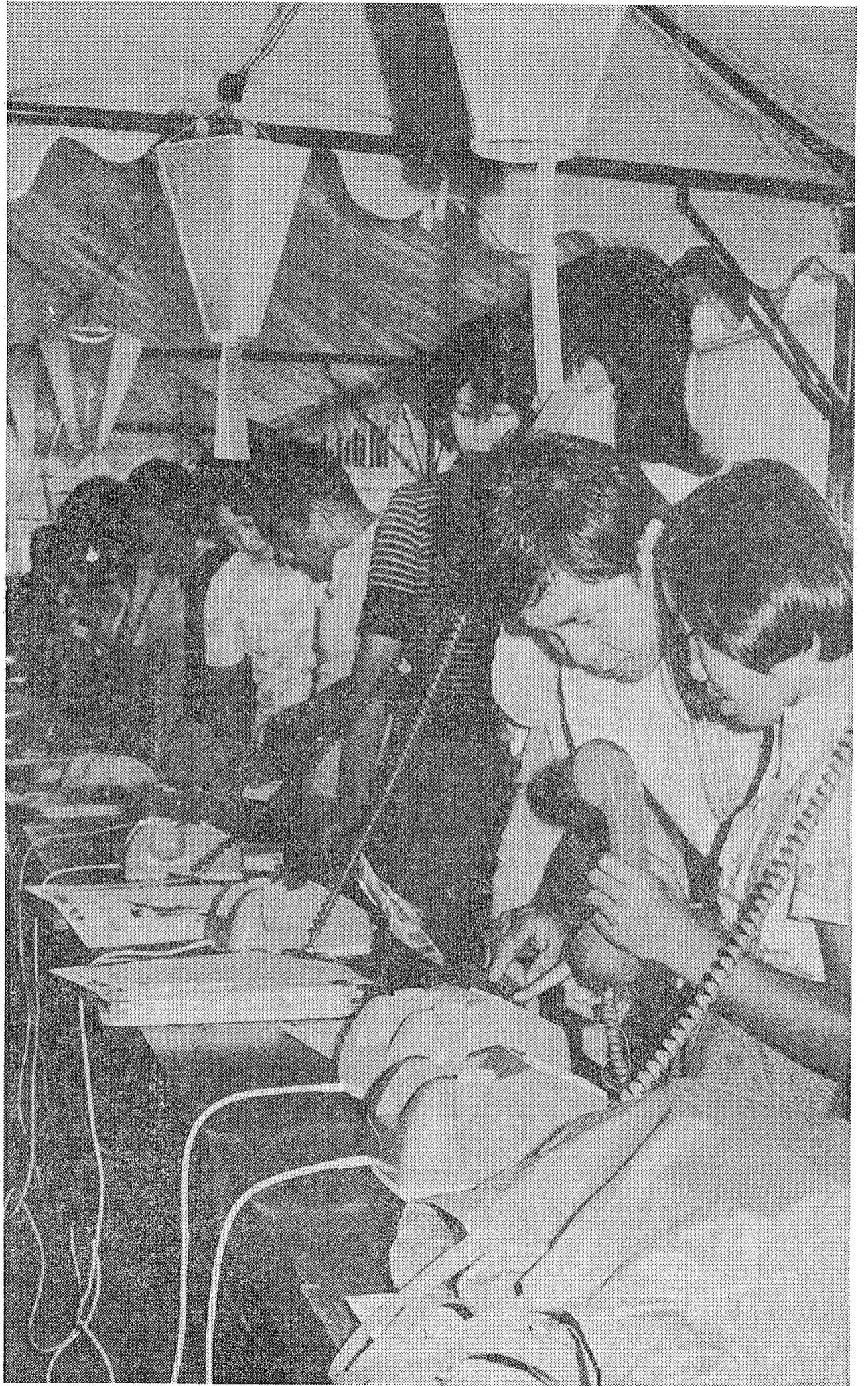


こしがわ



広報



おじいちゃん、おばあちゃん元気かな……

——盛況だったふるさと電話——

別名「ばかまつり」とよばれる越ヶ谷の秋まつりが、去る9月28・29日の2日間、盛大に開催されました。今回は、この秋まつりに合わせて越谷電報電話局、市商工会、東京電力越谷営業所の後援を得て、埼玉県信用金庫越谷支店駐車場に無料で利用できる「ふるさと電話」20台を開設し、訪れる市民で盛況でした。このふるさと電話に両日合わせて2400名余りの方が、北は北海道から南は九州、沖縄まで遠く離れた故郷の父母や祖父母、兄弟、友人などへ自由にダイヤルし、声のたよりを届けていました。

越谷市の人口		
(昭和50年10月1日現在)		
住民基本台帳		
総人口	19万4270人	前月比 491人増
男	9万8263人	274人増
女	9万6007人	217人増
世帯数	5万5383世帯	126世帯増

猪突猛進

(40)

革新市長会の仲間の先輩として親しく指導をいただいている、四国の南端、高知市の坂本昭市長は元参議院議員として、かつての安保斗争で樺美智子さんが非業の死を遂げた現場で、身を挺して樺さんたちを守り、たたかった有名な方で、激務の市長職に在りながら

市長の座

市長 黒田 重晴

今でも市民のために聴診器を持つヒューマニズムに徹した熱血の人ですが、この坂本さんの近著を読むと、イギリスのロンドン大学教授のロブソン氏が「ニューヨーク市長を評して語った」といわれる、世界中で最も気の毒であられる人は市長である」と言う言葉をしばしば引用して、市政や坂本市長の近況や感想を述べておられます。

坂本さんほどの方が、ロブソン教授の言葉を真実をもって語るほど、最近の市長という職務は、いろいろな意味で大変になっているのでしよう。議会では住民の代表としていると市長を追求する本市の議員、馬鹿じゃつとまらずだよ」などと冷やかす人もいます。

私自身、市長就任後あと一か月で満二周年を迎える現在、ロブソン氏の言葉をしみじみとかみしめる時があります。私の就任を、オイルショックという非常事態で歓迎してくれて以来、昨今の地方

財政の深刻な危機の継続は特別事態としても、毎日が身を切られるような日々を考えると、なんで好んで自ら市長に立候補したんだろう?とふと考え込む時があります。

しかしそれは瞬時で、そんな弱気心が出たら、一日も務まらないのが市長職でもあります。坂本さんをはじめ、全国六百四十三の先輩、後輩の市長の全てが、時に身の不運をなげきながらも必死になって、市民のための市政

に取り組んでいるのでしよう。ではなぜ、悲鳴を挙げる市長の座に、敢えて自ら立候補し、時には市民を二分してまで争って市長の座を求めようとするのでしよう。全国六百四十三人の市長が、それぞれ必然性を持っていることでしょうか、私にとっては、単純でキザな言葉かも知れませんが、「私の故郷こしがをよいまちにした」と言うのが、と「私がそれをやらなければ……」と言う、うぬばねにも、気負いにも、思い

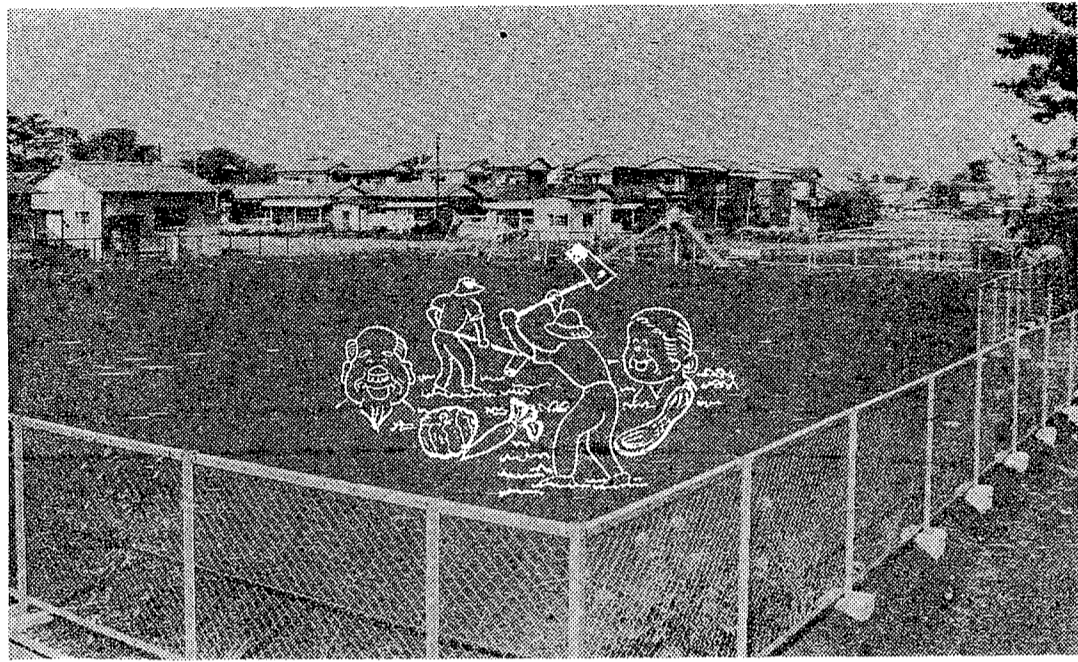
「まちをよくする」ことの困難さをしみじみとかみしめている今です。

土に親しみ菜園づくりも

老人農園を開園します

ただ今希望者受け付け中

おとしよりに土に親しんでもらい、老後の生活を、健全で、豊かにそして生きがいのある暮らしをしていただくこと、市では、神明町三丁目、老人農園を開園することになりました。この老人農園は、六十歳以上のお年寄りを対象としたもので、十月二十七日開園、十月十五日から希望者の申し込みを受け付けします。



現在、市には六十五歳以上のおとしよりは約六八〇〇人おられますが、さらに老人人口は増えていきます。核家族化がますます進み、若い人たちの扶養意識がうすれてきた現実を前にして、老後の生活保障、生きがいなど老人にとりま

この老人農園は、越谷市のようなかた、広い土地の確保もなく、土に親しむ機会に恵まれない、とたく家に

市では、これら老人福祉対策を積極的にとり組んでいます。このほど、おとしよりに生きがいを

を目的として計画されたものです。

神明町三丁目

三十五区画

老人農園の開設場所は、下記の案内図の通り、浦和県道沿いの神明町三丁目、稲荷神社となりの児童遊園地内の一部を利用するものです。

この土地は、神明町三丁目に住む齋藤さんが十年間無償で提供し

六十歳以上のおとしよりに

この農園を利用できる方は、市内に居住している六十歳以上のおとしよりに、貸付け面積は一人一区画(十平方メートル)を利用してください。

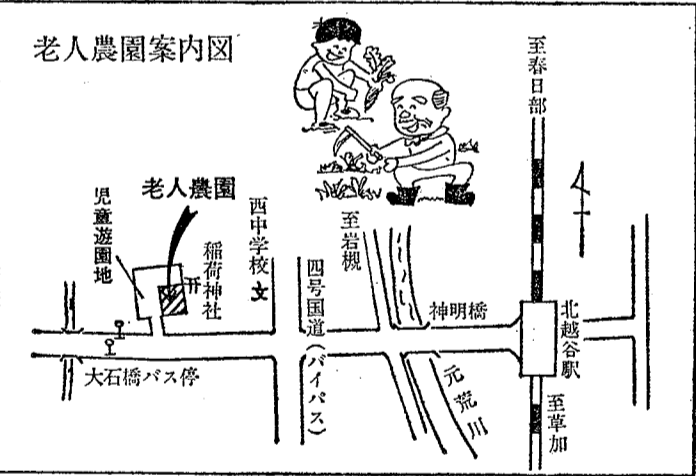
農園でとれた収穫物は、それぞれ自由に、持ち帰っていただき、おとしよりにがついたいろいろな野菜などの収穫を喜び、家庭の食卓をにぎわし、また菜園を通じて、老人の生きがいの場、憩いの場、そして地域住民との交流の場として、老後を大いに楽しんでいただきたいと思います。

希望申し込みは

十月十五日から受け付けます

老人農園を利用したい方は、十月十五日から十月二十四日までの間に、市福祉事務所福祉係(電話64-1111内線三〇二)へ、申

込を御持参の上お申し込みください。なお、申し込み多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。



今後さらに増設

土地の提供を

今年スタートする老人農園は、三十五区画というわずかな面積ではありますが、越谷市の多くのおとしよりに農園を利用できるように今後は全地区を対象に積極的に取り組んでいきます。

しかし、これらの用地を市で確保することは非常に困難であり、広範な市民のみなさんの協力が必要になります。現在、子ども広場や児童遊園地など、暖かい市民の協力により土地の提供をいただいておりますが、空いている畑地や空地など、土地の提供をしてもよいというご家庭がございましたら、どうぞ福祉事務所福祉係へご連絡ください。

人事異動

- 越谷市立病院が昭和五十一年一月開院に備え、越谷市立病院建設事務局を越谷市立病院として機構を新たに診療部、看護部、事務部が設置されましたが、これに伴い十月一日付で次の通り人事異動が行われました。(カッコ内は市立病院建設事務局旧職名です)
- ▽越谷市立病院長 小谷新太郎
- ▽副院長兼診療部診療部消化器外科部長 安井昭(主幹) ▽副院長 鈴木裕万(事務局長) ▽診療部消化器内科部長兼中央診療部門内視鏡室長 早川尚男(主幹) ▽診療部門脳神経外科部長 兼中央診療部門リハビリテーション科部長 池谷不律(主幹) ▽診療部放射線科部長兼中央診療部門放射線科部長 安河内浩(主幹) ▽診療部門救急外科部長 黒澤真 ▽中央診療部門臨床検査
- ▽診療部長 谷中誠(主幹) ▽総看護婦長 入井きみ(主幹) ▽診療部消化器内科部長 稲見義明(医師) ▽同 高木直行(医師) ▽同 佐々木輝男(医師) ▽同 山中啓子(医師) ▽診療部消化器外科部長 一瀬裕(医師) ▽同 平瀬吉成(医師) ▽中央診療部門リハビリテーション科技師長 山本隆(主査) ▽中央診療部門臨床検査科技師長 栄本忠昭 ▽中央診療部門臨床検査科技師長 近藤弘司(主査) ▽診療部薬剤科部長 清水秀子(主幹) ▽診療部栄養科部長 坂内禮子(主幹) ▽事務部庶務課長兼医事課長 会田智彦(庶務課長兼医事課長) ▽事務部管理課長 石原清宏(管理課長)

たばこはこしがやで買ひましよう

みなさんが、市内でたばこを買うと、1箱(20本入り)について約15円がたばこ消費税として市の収入になります。その額は、昭和49年度では2億8000万円にもなり暮らしやすいまちづくりの資金となっています。たばこはぜひ、こしがや市内で買ひましよう。



たば

こから生まれる市の財産



たかがゴミぐらいいわなんていわないで

費用もたくさんかかるのです



写真は燃えないゴミの収集日……何と無造作に出されていることでしょうか。これでは収集する人はどこから手をつけてよいかとまどってしまいます。こんな光景がまだまだ見受けられます。分別してキッチンと出している所では能率も倍増。生ゴミの水きりと同時に、分別、出し方にも気をくばっていただき、出す人、集める人、処理する人が協力し、責任をもってゴミ問題を考えなければなりません。

ゴミは分別・水切りを完全に

人口の急激な増加と、消費生活の向上、産業の発達などから、ゴミの量は毎年増え続け、四市二町で共同処理している東部清掃組合に搬入されるゴミは、昭和四十九年度は六万八三〇〇トン、越谷市から搬出されるものだけでも二万二〇〇〇トン、現在越谷市では二二台の収集車がフル回転で収集にあたっていますが、毎日出されるゴミの量はトラック七〇台分にもなり、五年前とくらべると約五倍と驚異的に増えています。

また、もえるゴミの中に搬入されたアキカン、アキビン、プラスチックなどの燃えないゴミ。特にプラスチック類が好に入ると、燃える時に高温を発生し、燃却炉をいためることもしばしば……修理代がかさみ、炉の寿命も短かくしてしまつたのです。

以前は野菜のくずなどは土に穴を掘ってうめ、長い期間を得て土にもどすというのをやっていたが、過密化した現在の越谷市ではこれも敷地のある家庭でなければできないことです。

資源不足の中で、ゴミを第二の資源として再利用できるようなさまざまな工夫をこらし、ゴミの減量と資源の再利用、水切りや分別などによる経費の節約など、ゴミ問題を一人一人の努力で解決していかねばなりません。

十一月三日は文化の日です。越谷市が誕生したのは昭和三十三年の十一月三日、今年で十七年目を迎えますが、当時四万八千人だった人口も約二十万人、約四倍にふくれ上がりました。美しい田園風景も今では住宅が立ちならび、当時の景観はほとんどなくなっています。残された自然はあります。稲の取り入れ

越谷市中期計画<8>

豊かな人間社会の建設めざして

緑を育て豊かな緑地をつくるために



自然を守り快適

で住みよい生活環境を

ますます過密化する都市、複雑化する社会の中において、緑のオープンスペースの確保が強く求められている今日の状況に對処し、残された自然の保護と、新たな緑の環境をつくるために、市民と行政の一体的な取り組みが重要となっています。

現在完成している都市公園は十五か所、面積は八・六四ヘクタールです。また今後完成予定のものを含めると二十一か所、三九・九三ヘクタールとなりますが、これを利用目的別に分けると、レクリエーション、スポーツ的なもの六か所、児童遊園的なもの二十六か所、河川緑地的なもの二か所遺跡的なもの一か所となっています。

また、空気が冷たく乾燥していると、かぜやぜんそくなど、気管の病気が多くなります。ふだん病気が多い病室など、たことのない方は「かぜなんか……」と、かぜを病気の仲間に入れていないようですが、とてもありません。軽いかぜなら暖かくして、静かに寝ていれば、たいして治りますが、ぜん

も終った秋の日の夕暮れ、真赤にそめた西の空を見ると、ワラぼちの間からくっきりと富士の山が姿を見せ、それはきれいなながめです。こんな美しい景色がやをいつまでも大切にしたいものです。

生活と健康



十一月三日は文化の日です。越谷市が誕生したのは昭和三十三年の十一月三日、今年で十七年目を迎えますが、当時四万八千人だった人口も約二十万人、約四倍にふくれ上がりました。美しい田園風景も今では住宅が立ちならび、当時の景観はほとんどなくなっています。残された自然はあります。稲の取り入れ



そこのある方はしろうと療法は禁物です。「かぜは万病のもと」といわれるのは、かぜのような症状ではじまる重い病気が多いからで、健康は宝、かぜをひかないよう、お互い健康には気をくばりましょう。



図書館だより 第68回 日本古典文学鑑賞講座

移動図書館 13:30~14:30 15:00~16:00

本との出会いゆたかな時間 10月27日~11月9日まで読書週間

おとどけ新聞のNIPENDO

第20回市民体育祭は北陽中学校で開催します

雨天の場合は11月9日(日) 入札は50名以上60歳以上の男女

市民文化祭は 10月26日(土)11月3日(日)

第4回 市民と市長の対話集会 あなたも市長と話してみませんか

在宅重度障害者に 福祉手当が設けられました

環境保全セミナーに参加ください

児童・生徒を募集 埼玉県立川口養護学校

第9回 越谷菊花大会

あなたの石油ストーブは 地震に安全ですか



めつきり寒さを感じる今日この頃。ストーブが恋しくなり、物置床下下りておいたストーブ

石油ストーブ 石油ストーブを燃焼させるためには、左記の燃料の付

市立病院の事務局長が 移転します

市立病院の事務局長が 移転します

終戦直後の越谷

一昨年来の、狂乱物騒。とそれ以上に、どろどろとした泥



市史編纂部 終戦直後の越谷

おしらせのページ 実印は大切にしましょう

おしらせのページ 家族ぐるみでポイントゲームに参加を

おしらせのページ 市立病院の事務局長が移転します

市史編纂部

終戦直後の越谷 一昨年来の、狂乱物騒。とそれ以上に、どろどろとした泥

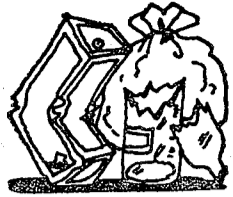


市史編纂部 終戦直後の越谷

おしらせのページ 実印は大切にしましょう

おしらせのページ 家族ぐるみでポイントゲームに参加を

おしらせのページ 市立病院の事務局長が移転します



燃えないごみの収集日

11月(4~30日)の燃えないごみの収集を次の日程のとおり行います。(清掃課)

毎月第一・三土曜日「朝市」は10月18日、25日、11月1日の午前6時30分から8時30分まで市福祉会館東側路上で開きます。本日の奉仕デーと表示したグリーンの旗が奉仕デー参加店の目印です。

と	き	と	ころ
11月4日(火)	14日(金)	27日(木)	川柳町1~5丁目、蒲生4丁目、大林新生、大房新生、住吉新生、藤ヶ丘、越ヶ谷1~3丁目、大里東、大里、大里南、鯛の島、宮本町3~5丁目、大間野町1・2丁目
5日(水)	17日(月)	28日(金)	蒲生東町、蒲生寿町、大房、沼田、大林、越ヶ谷本町、中町、下間久里、北越谷3~5丁目
6日(木)	18日(火)		蒲生1・2丁目、蒲生本町、蒲生南町、蒲生愛宕町、北越谷1・2丁目、海道西、桃山、うめが丘、梅園台、梅ヶ丘中央、弥生町、東柳田町、元柳田町
7日(金)	19日(水)		蒲生3丁目、蒲生旭町、伊原1・2丁目、神明町1~3丁目、谷中町1~4丁目、新川町1・2丁目、恩間、赤山町1・2丁目、上間久里
8日(土)	20日(木)		蒲生西町1・2丁目、蒲生西町、南越谷3丁目、大沢1・2・4丁目、七左町1~3丁目、雇用促進事業団、赤山町3・4丁目、平方(立野、三和、山谷は除く)
10日(月)	21日(金)		登戸町、南越谷1・2丁目、大沢3・5・6丁目、七左町4~8丁目、大竹、恩間新田、三野宮、赤山町5・6丁目、立野、三和、山谷、竹越、大道
11日(火)	22日(土)		瓦曽根1~3丁目、登戸新田、登戸西町会、瓦曽根、宮前、宮浦、東宮前、南荻島(野合、野中、新田、下手)、長島、西新井、北後谷、袋山、相模町1~8丁目、西方、大泊
12日(水)	25日(火)		東越谷1~4丁目、増林、花田、中島、越ヶ谷4・5丁目、柳町、御殿町、砂原、小宮川、野島、丸友1・2、外野合、親睦会、大成町1~8丁目、弥栄町1~4丁目、向畑、北川崎、大吉
13日(木)	26日(水)		東小林、弥十郎、市営住宅、鷺越、東町1~7丁目、大杉、大松、船渡、宮本町1・2丁目、大間野町3~5丁目

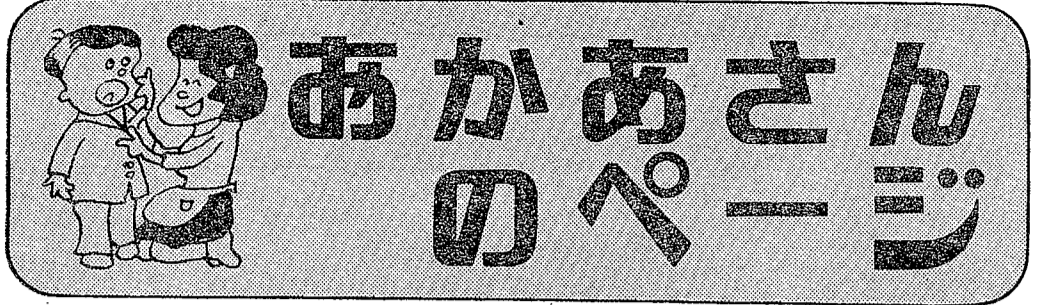
*ごみは午前8時までに、袋に入れ口を結んで出してください。

ごみはきめられた日に

きちんと出しましょう



※集荷所はいつもきれいに



経口生ポリオワクチンの投与

市衛生課では、次のとおり経口生ポリオワクチン投与を行います。該当者は当日昼の体温を正確に測定し、通知ハガキ(問診票)に記入して決められた会場へ持参してください。なお、通知ハガキの届いていない方は当日各会場受付に用意してあります。

該当者 昭和49年4月1日~昭和50年3月31日生まれて、生ポリオワクチンを2回服用していない乳幼児

受付時間 午後1時30分~2時30分
持参するもの 通知ハガキ、母子健康手帳

*ましん、BCG、種痘の予防接種を受けた乳幼児は1か月、その他の予防接種は1週間経過しなければ受けられません。

問い合わせ先 午前中に衛生課予防衛生係へ(電話64-2111 内線255・256)



月	日	会場	該当する住所地
10月	27日	月 蒲生公民館	登戸、登戸町、蒲生南町、七左町1丁目、七左エ門、蒲生
	28日	火 大袋公民館	恩間、大道、大竹、三野宮、恩間新田、南荻島4000~
	29日	水 桜井公民館	平方、大泊
	30日	木 福祉会館	弥生町、赤山町1~6丁目、東柳田町、元柳田町、宮本町1・2丁目、西方東越谷1~4丁目
	31日	金 川柳公民館	川柳町1~6丁目、麦塚、伊原1・2丁目、伊原、上谷
11月	4日	火 大相模公民館	相模町1~7丁目、大成町1~8丁目、東町1~7丁目、南百、千疋、中島
	5日	水 荻島公民館	南荻島1~3999、野島、小宮川、砂原、北後谷、長島、西新井
	6日	木 新方公民館	船渡、大松、北川崎、向畑、大吉、大杉
	7日	金 出羽公民館	宮本町3~5丁目、谷中町1~4丁目、新川町1・2丁目、越巻、七左エ門2~8丁目、大間野町3~5丁目、大間野
	10日	月 市立第二体育館	北越谷1~5丁目、大里、花田700・713・718、越ヶ谷1690・2230・2236・2623
	11日	火 増林公民館	増森、増林、花田
	12日	水 大袋公民館	袋山
	13日	木 蒲生公民館	南越谷1~3丁目、蒲生寿町、蒲生東町、蒲生西町1・2丁目
	14日	金 市立第二体育館	弥十郎、弥栄町1~4丁目、大房、大林
	17日	月 大沢公民館	大沢1~4丁目、大沢、神明町1~3丁目
	18日	火 蒲生公民館	蒲生1~4丁目、蒲生本町、蒲生愛宕町、大間野町1・2丁目、蒲生旭町
	19日	水 桜井公民館	下間久里、上間久里
	20日	木 越谷保健所	越ヶ谷本町、中町、柳町、御殿町、越ヶ谷1~5丁目、越ヶ谷、瓦曽根1~3丁目、瓦曽根、東小林

おかあさんのページ

レントゲン検診を受けましょう

衛生課では次のとおり結核健康診断を行います。この機会にもよりの会場で必ず受けましょう。なお、費用は無料です。

該当者 15歳以上で学校または会社、事業所等で検診を受けた方を除く全市民です。

問い合わせ先 午前中に衛生課予防衛生係へ(電話64-2111内線254~256)

月	日	会場	
		9:30~11:30	13:00~15:00
10月	23日	木 北越谷記念会館	大沢公民館
	24日	金 蒲生保育所	蒲生公民館
	30日	木 深田保育所	桜井公民館
	31日	金 増林保育所	増林公民館
11月	4日	火 西中学校	荻島公民館
	5日	水 大袋保育所	大袋公民館
	6日	木 南越谷小学校	川柳公民館
	7日	金 東小林記念会館	大相模公民館
	10日	月 大沢第一保育所	新方公民館
	11日	火 赤山保育所	出羽公民館
	17日	月 大林新生	越谷保健所
	18日	火 蒲生南保育所	蒲生公民館

発行・埼玉県越谷市役所 編集・企画部広報課 (越谷市越ヶ谷四丁目二番一号 郵便番号三三三三) 電話 0489-64-2111

市と越谷市くらしの会共催による第二回「みんなの消費生活展」を次のとおり開催します。

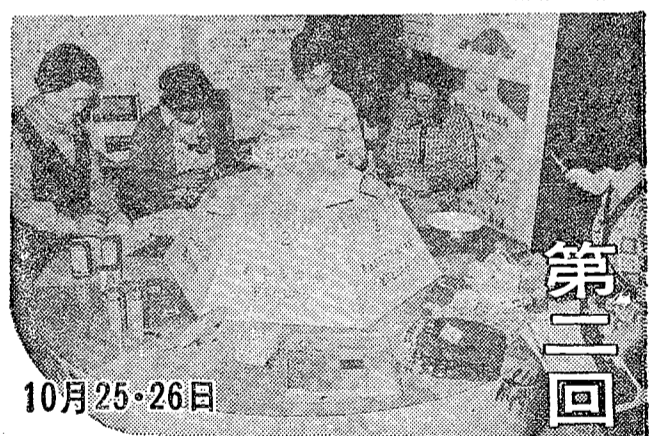
今回は「資源を大切にしよう」をメインテーマに、「資源危機」を正しく認識、理解し、その危機に對し消費者はいかに対処すべきかを考えようというものです。

なお、当日は各種(展示・実演・相談等)コーナーを設けて多彩な催し物を行います。多数ご来場ください。

とき 10月25・26日(土・日)
午前10時~午後4時

ところ 越ヶ谷公民館(富士銀行越谷支店前)

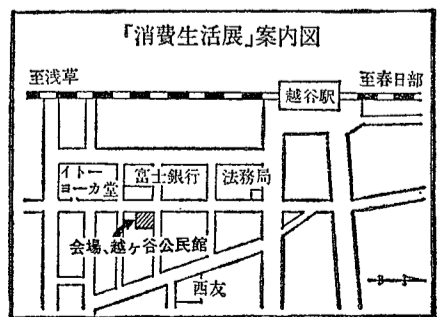
テーマ 「資源を大切にしよう」



10月25・26日

第二回「消費生活展」を開催

手づくりによるお菓子やパンの実演をします



暖房器具の準備はお済みですか



第四回「消費者教室」を次のとおり開催します。

これからいろいろ暖房器具を使用する季節となりますが、快適な暖房をするための正しい手入れ方法や使い方を指導します。お気軽に問い合わせ先

講師 日本燃焼器具検査協会 鳥居敏美氏

軽にお越しください。なお受講は無料です。

とき 11月5日(水)
午後1時30分から

ところ 市役所五階大会議室

テーマ 「暖房器具の手入れと準備」